

地域連携推進会議

事業所名：グループホームみなふれんどプラス

日時：2026年2月17日（火） 14：00～

開催場所：ワールドユニオンビル 2F

構成員：利用者 2名

利用者様家族 1名

地域福祉に見識を有する方 2名

障害福祉担当職員 3名

- 議題：① 開会
- ② 参加者のご紹介
 - ③ 地域連携推進会議の趣旨
 - ④ 障害について
 - ⑤ 施設とサービスについて
 - ⑥ 利用者様の日常生活状況について
 - ⑦ 近隣からの苦情など
 - ⑧ 経営状況
 - ⑨ BCP 策定状況について
 - ⑩ 虐待、事故、ヒヤリハット報告
 - ⑪ 職員体制
 - ⑫ 今後の計画
 - ⑬ 質疑応答
 - ⑭ 施設見学
 - ⑮ 閉会

① 開会

② 参加者のご紹介

③ 地域連携推進会議の趣旨

地域連携推進会議は、令和6年度は努力義務でしたが、令和7年度から義務化され、令和7年度以降は各事業所で地域の関係者を含む外部の目を入れた会議を、開催することが求められます。地域連携推進会議の趣旨は、施設と地域が連携し、地域の関係者を含めた外部の視点を取り入れることで、事業運営の質を向上させ、利用者の権利を守ることを目的としています。具体的には、利用者の生活を地域の一員として支援し、施設の透明性を確保し、地域との関係を深めることが求められています。

④ 障がいについて（障がいの種類、特性）

1. 知的障がい

学習・理解・適応行動に制限がある

複雑な説明の理解、金銭管理が難しい

出来ることを伸ばしていく視点

2. 身体障がい

運動機能に制限がある

車いすや、杖での歩行

見た目ですぐに困り事が分かりにくい場合もある

3. 視覚障がい

視力に大きな制限があり、白杖や盲導犬を使用する事がある

場所の把握、表示や掲示物の読み取り、段差や障害物の認知が分かりにくい事がある

声掛け、案内は明確に行う

4. 聴覚障がい

音声の聞き取りが困難

会話の聞き取り、サイレンなど音に関して聞こえにくい

文字を書いてコミュニケーションが取れるとは限らない為、コミュニケーション手段を確認する

5. 発達障がい（自閉スペクトラム症・ADHD）

社会的コミュニケーションが困難、感覚過敏、鈍麻、注意や実行機能の困難

予期せぬ変化に不安を感じる、騒音や光に敏感、集中持続が難しい、社会的空気読みが苦手

表面上にはわかりにくい為、誤解や孤独が生じやすい

具体的・視覚的な支持、一貫性のあるルールなどを用いて関わる

6. 精神障がい（うつ、統合失調症、双極性障害、不安障害など）

感情や思考、行動に影響する疾患、経過は個人差が大きく、波がある事が多い

外出や社会参加が難しくなる、睡眠、食事の乱れ、急性期には危機対応が必要な場合がある

否定的な言動、受動的な対応が必要

⑤ 施設とサービスについて

現在北区で2か所、21室、21名の利用者様がお住まいです。お部屋はマンションタイプ（ELV付）14室、アパートタイプ7室で、全て個室のGHとなっております。主に夜間の支援として、相談や食事の準備、その他必要な日常生活上の援助を行います。毎日朝夕に訪室し、体調確認や困り事などの確認、掃除支援や月に一度の面談で聞き取りを行っており、必要な方には金銭管理や、お薬管理を

行っております。お薬管理は定期にお薬をお持ちし、服薬の確認、飲み込みの確認を行います。

金銭管理は、必要なお支払いを行い、定期的にお小遣いをお渡しし、お金の使い方のお手伝いを行い、お金の渡し方は週に一度や月に一度など、その個人により異なります。

日中帯は7時に朝食配膳、体調・予定確認、14時体調確認、17時夕食配膳・体調・当日の様子・翌日の予定などを確認します。

夜間帯は夜勤者14室のマンションに二名、7室のアパートに一名配置しております。22時～5時までで、巡回は二回行っており、利用者様に状態変化がみられる場合や、必要時巡回を増やしております。病院受診同行や買い物同行、代行その他ご本人の要望などを聞き取り、お手伝いを行っております。

⑥ 利用者様の日常生活について

現在9割の方が日中活動されており、就労継続支援A型・B型、地域活動支援センター、生活介護事業所、自立訓練事業所、一般就労などに、通われております。

日中活動帰宅後は各々、シャワーに入ったり、テレビを見たり、二階の共用部などで落ち着いた時間を過ごしております。休みの日などは買い物に行ったり、映画など外出されたり、友人との時間を楽しまれ、自由な時間を過ごされております。

⑦ 近隣からの苦情など

利用者様が大声を出しているとの通報のクレームが入る。

同じアパート内の一般入居者部屋へ、好意があるお手紙を出し、管理会社よりクレームが入る。

⑧ 経営状況

⑨ BCP 策定状況について

災害版、感染症版をそれぞれ策定しており、スタッフに共有周知しております。BCP 研修、委員会は法定研修・委員会を年二回実施しており、地震や避難が必要な状況を想定し、職員の初動対応の実技訓練を行い、机上ではマニュアルの確認や、備蓄品、避難場所の確認などを行っております。

去年 12 月 12 日 11:52 震度 3 の地震時対応

夜勤者が手分けして、電話、メール、訪室し全員の安否を迅速に確認し、ELV が停止したので、各階の非常扉を開放し、避難経路を確保する。

⑩ 虐待・事故・ヒヤリハット報告

1. 虐待：実施した案件はありません

2. 事故：誤薬・渡し忘れ

対策・薬を渡す前に錠数確認表を確認し、職員と氏名、日付のダブルチェックを行う。

3. ヒヤリハット：薬セットし忘れ・眩暈により転倒しそうになったが、職員が支えた・車いすストッパーが止めていなかった・薬の日付が間違っていた 等

対策・薬チェック表を作成し、確認する。

常に転倒の恐れがある事を再確認し、直ぐに支えられる位置に職員を配置する。

必ず車いすのストッパーを確認し周知する。

薬の日付を本人と再度確認する。

⑪ 職員体制

常勤数 9名

非常勤数 3名

夜勤者数 8名

計 20名

内 4名インドネシアの方が働いて頂いています

⑫ 今後の計画

1. 函館に4月より「グループホーム昭和」が12室開設する
2. 積丹郡美国町に民泊開設予定

⑬ 質疑応答

⑭ 施設見学

⑮ 閉会

令和 8 年度第 1 回地域連携推進会議 議事録

1. 開催状況

事業所番号	0120204730			
事業所名	みなふれんどプラス			
今回の会議の対象となる共同生活住居 ※複数の共同生活住居を設置している場合に記載	みなふれんどプラス、みなふれんどプラスα			
開催日時	令和 8 年 2 月 17 日 火 曜日 14:00 ~ 15:30			
開催場所	みなふれんどプラス食堂			
出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考(欠席理由等)
※利用者・利用者家族・地域の関係者は必須参加者です。	利用者	2 名	名	
	利用者家族	1 名	名	
※福祉に知見のある人・経営に知見のある人はどちらか1名の参加が必須です。	地域の関係者	1 名	名	就労支援事業管理者1
	福祉に知見のある人	1 名	名	就労支援事業管理者1
	経営に知見のある人	1 名	名	共同生活援助運営者1
	事務局(施設職員)	2 名	名	管理者1、生活支援員1

2. 議題内容

<ul style="list-style-type: none"> ・参加者紹介 ・地域連携推進会議の趣旨 ・障害特性について ・施設とサービスについて ・利用者様の日常生活状況について ・近隣からの苦情 ・経営状況 ・BCP策定状況について ・虐待・事故・ヒヤリハット報告 ・職員体制 ・今後の計画 ・質疑応答

3. 構成員からの質問、要望、感想等

利用者家族より

質問：GH内での災害時備蓄品はどうなっているのか？

回答：3日分の水や食料はある。今後は増やして行く方向と回答

質問：利用者全体に、災害時、緊急時の対応の説明をどのように行っているか？

回答：都度口頭で説明はしており、今後は書面にて対応方法をお伝えする方向と回答。

福祉に知見のある人

質問：体調不良や、災害等で日中活動を休んだ際の昼食はどのようにしているか？

回答：自身で行ける方は自身で行って頂き、行けない方は代行や同行を行っている。

利用者様より

実際に12月に起こった地震の時について話して頂き、非常に恐怖を覚えて、一人では動詞低下が分からなく、GH職員より連絡を貰い安心したとの事。

4. その他

- ※ 複数回に分けて会議を実施した場合、実施日ごとに1ファイルとして作成してください
- ※ 取りまとめの都合上、行や列の追加・削除等の変更は行わないでください。

令和 8 年度第 1 回地域連携推進会議 施設訪問記録

1. 実施状況

事業所番号	0120204730			
共同生活住居名/ 障害者支援施設名	みなふれんどプラス			
施設訪問日時	令和 8 年 2 月 17 日 火曜日 15:00 ~ 15:30			
住居/施設住所	札幌市北区北17条西3丁目2-23ワールドユニオンビル			
出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考（欠席理由等）
※利用者・利用者 家族・地域の関係 者は必須参加者で す。	利用者	1 名	名	
	利用者家族	1 名	名	
※福祉に知見のあ る人・経営に知見 のある人はどちら か1名の参加が必 須です。	地域の関係者	1 名	名	就労支援事業所管理者 1
	福祉に知見のある人	1 名	名	就労支援事業所管理者 1
	経営に知見のある人	1 名	名	共同生活援助運営者 1
	事務局（施設職員）	2 名	名	管理者1、生活支援員1

2. 構成員からの質問、意見、感想等

※ 共用部と廊下、一名の利用者様部屋を了承のもと、見学する。

家族
実際に他の方の生活風景を拝見できて良かった。

就労支援事業所管理者
トイレとお風呂が別になっていたり、生活がしやすい印象を受けた。

- ※ 複数の共同生活住居を設置している場合、共同生活住居ごとに1ファイルとして作成してください。
- ※ 施設訪問を複数回に分散して実施した場合、訪問日ごとに1ファイルとして作成してください。
- ※ 取りまとめの都合上、行や列の追加・削除等の変更は行わないでください。

令和 8 年度第 1 回地域連携推進会議 施設訪問記録

1. 実施状況

事業所番号	0120204730			
共同生活住居名/ 障害者支援施設名	みなふれんどプラスα			
施設訪問日時	令和 8 年 2 月 17 日 火 曜 日 15:00 ~ 15:30			
住居/施設住所	札幌市北区北20条西2丁目2-27ロフティハウス			
出欠状況	構成員種別	出席	欠席	備考(欠席理由等)
※利用者・利用者 家族・地域の関係 者は必須参加者で す。 ※福祉に知見のあ る人・経営に知見 のある人はどちら か1名の参加が必 須です。	利用者	1 名	名	
	利用者家族	1 名	名	
	地域の関係者	1 名	名	就労支援事業所管理者 1
	福祉に知見のある人	1 名	名	就労支援事業所管理者 1
	経営に知見のある人	1 名	名	共同生活援助運営者 1
	事務局(施設職員)	2 名	名	管理者1、生活支援員1

2. 構成員からの質問、意見、感想等

※ 廊下、事務所、参加者利用者部屋を見せて頂く。

家族

比較的広く、ゆったりと生活が出来そうとの事。

就労支援事業所管理者

部屋ごとに配置や広さが違うが、実際の生活状況を見られてよかった。

※ 複数の共同生活住居を設置している場合、共同生活住居ごとに1ファイルとして作成してください。

※ 施設訪問を複数回に分散して実施した場合、訪問日ごとに1ファイルとして作成してください。

※ 取りまとめの都合上、行や列の追加・削除等の変更は行わないでください。